

2011 (平成23) 年5月19日

館外講座だより10

# 荒川源流バスツアー

葛飾区郷土と天文の博物館

第 23 回目となるバスツアーは、関東平野第二の河川である荒川の源流部を訪れました。

6000 年前の縄文海進期、東京低地には渡良瀬川が南下し東の入り江を形成していました。一方荒川と利根川は一緒になって西の入り江に流れ込んでいました。利根川が荒川を離れ東の谷へ入るのは 1500 年前といわれています。荒川は、首都圏の中央部を流れる、治水や利水の面できわめて重要な河川です。利根川・江戸川・中川との相違点を知り、東京低地の独自性や治山治水の重要性を再認識する契機となれば幸いです。

## ◆埼玉県立川の博物館

みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数) です。

- 解りやすい模型でした。源流から上流・中流・下流へと東京湾、その中に葛飾があり、いかに低い処にあるかがわかりました (10 回目、ほか多数)
- ボランティアさんの説明もよく、楽しくお勉強ができました (初参加、ほか多数)
- 荒川の模型がスゴイ。東京湾までの流れがはっきり解る。長い道のりと色々な施設を経て首都がしっかり守られていると思う (4 回目)
- いろいろな博物館をみましたが、川についてのものは初めてでおもしろかった (初参加)
- 以前ここに立ち寄ったときは丁度休館日だったので、今回参観出来た事を嬉しく思っております (4 回目)
- 大きな水車、まるで観覧車のような風景と 1000 分の 1 の荒川のジオラマ、たいへんよかった。またプライベートで再訪したい (初参加)。
- 素晴らしい施設、荒川の全てがパノラマでつかめる。(初参加)
- 大ジオラマ、荒川の高低さもわかり、荒川を実感 (8 回目)



奈良義之さん：荒川大模型 173 の説明



二つダム 見ごたえありて 満足し

新緑も 一滴の 水に生かされて

山藤の

みどりに負けじと ダムサイト  
炎昼を 冷やすが如き ダムの水

ダムサイト直下流にかかるループ状の「大滝大橋」と「甘六木大橋」

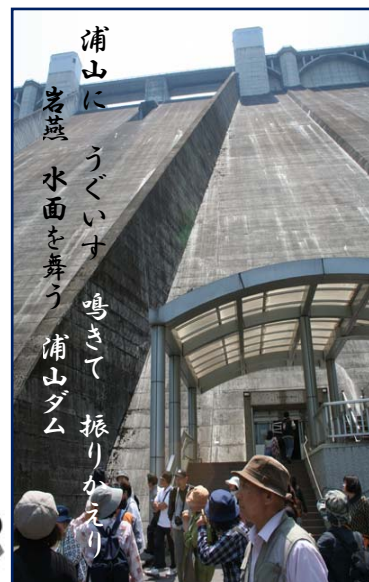
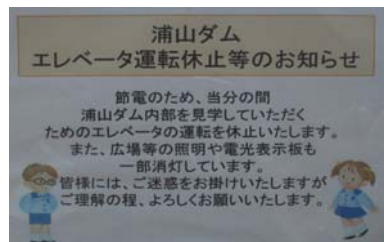
## ◆浦山ダム (秩父さくら湖)

- 久しぶりのダム見学。ダムの役目、必要性、改めて考えさせられた。施設内部は初めてみたが、微に入れ細に入り技術の高さ、苦労がしのばれる (初参加)
- 今後はなににでも興味をもって、1日1日を大切に生きていこうと思います (初参加)
- ちいさなかわいらしいダム。岩燕のかわいらしい姿にみとれる (4 回目)
- ダム堤体 (この言葉も知りました) のパネルがわかり易かった (初参加)
- 建設中の浦山ダムに来たことがあったのでなつかしかった (初参加)
- 村落 1 部落水ぼつの方々との協力により、東京の住民は水を飲むことが出来、生活していることを知る (4 回目)



- エレベーターの 1 分間、ずいぶん長く感じました (2 回目)
- 重力式ダムを初めて見学できてよかったです (初参加)
- 電力が 1500 世帯分しかないとは、少しビックリしました (4 回目)

- もう少し lunch time がゆっくり出来たらなあ (2 回目)
- 土屋元知事が娘の名をとって「さくら湖」にしたというのは本当か (初参加) →「日本さくらの会」の理事をしていたことになむようです。



## ◆滝沢ダム (奥秩父もみじ湖)

- ダムの目的は、洪水、水道用、取水の安定と河川環境、発電と 4 つあると説明を聞いて、節水に心がけるようになります (2 回目)
- 雄大なダム、規模といい造る苦労、長い年月に敬意を払う (初参加、ほか多数)
- ダムも 1 年で 3cm ぐらい動く? 驚きでした (初参加)
- ダムにもろう水があるとは知らなかった (2 回目)



ブラムライン：ダム堤体に生じるひずみを測定する計器



- ダムの管理室を始めて見せて頂いたが、維持管理することも実に大変な事と思った。東京の水ガメであるダム、このダムに沈んだかつての地域住民の事で胸が痛んだ (初参加)
- 下から見ることによりダムの巨大さを改めて感じた (初参加)
- ダム湖の水の青さ、まわりの山々の樹々の緑、ず〜っと一日中いたかった (2 回目)
- ダムから見るループ橋は絶景 (2 回目)

## ◆雁坂みち（雁坂トンネル）と甲州路



- H10. 4. 23 開通と自分が持っている道路地図に記録してあり、今日通行出来たことは感激でした（4 回目）
- 山々の若葉で目が洗われたようでした（2 回目）
- 昔の山男には、ただただ驚くばかり。しかし秩父の人々の恩恵はいかばかりか（初参加）
- 初めて通過した。雲取尾根より見ていた尾根すじでした（初参加）

○山登りが趣味だからバスツアーでも山岳の息吹を十分堪能しましたよ（初参加）

●中央高速が出来ぬ時の甲州路の釣行が懐かしく感じました（4 回目）

○信州と彩の国を結ぶ、こんな長いトンネル。便利になったものだ。昔の人は本当に大変だったろうと思う（4 回目）

○道の駅でほうとうを食べたかった（2 回目）

○個人ではなかなかフィールドワークに行けない状況、机の上で学ぶだけではなく、こうして現地に行くこと、行けるこの企画を大切に長く続けてほしい（4 回目、ほか多数）

○富士山が大きくとても感動しました。日本人に生まれてよかった。感謝（初参加）



会いの丘からみる豆焼橋と奥秩父トンネル、この先が雁坂トンネル

## ◆その他・自由欄

○震災後気持ちがなんだか晴れませんでした、今日の新緑を目に焼きつけ、明日から頑張りましょう（2 回目）

○車中での説明などで目からウロコ、なる程と沢山学習できました。少しは他人ににわか仕込みのウンチク（浅いが）自慢したいですね（初参加）

●無理な行程でもなく良好でした。但しトイレ休憩時間が短い様に思います（初参加）

○なつかしい花をたくさん見れました。アカシア、ツツジ、朴、栃、山藤、花おおう、山ぼうし、卵の花など（初参加）

○久しぶりにまじめな旅でした（初参加）

○河川の変化を興味深く御講義いただきありがとうございました（4 回目）

○日帰りなので難しいこととは思いますが、ダム見学は1カ所省略して、自由時間があるとよかったです（2 回目）

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
7:25	博物館出発	
7:40	四つ木IC	
7:55	川口JCT	
8:33	大泉JCT	
9:22	花園IC	
9:30	埼玉県立川の博物館	70分
11:30	浦山ダム	75分
13:25	滝沢ダム	65分
15:03	雁坂トンネル	
15:32	はなかけの郷まきおか	25分
16:20	勝沼IC	
17:15	狭山PA	15分
17:52	大泉JCT	
18:08	川口JCT	
18:25	四つ木IC	
18:40	博物館着	
内山観光バス：フェニックス号		
ドライバー：小貝享史さん		
走行距離：365 km（倍率2.25倍）		
応募106キャンセル2名、当日参加46名		
参加費2800円/64歳以下見学実費240円		

## ツアー後記

3.11 東日本大震災後、一時は開催そのものが懸念されたバスツアーでした。久しぶりの遠出だった方も多かったと思います。深山に癒され、蛇口からほとぼりする冷たい水にありがたさを感じ、被災地に想いを馳せました。ご案内いただきました川博の藤田宏之・奈良義之さん、浦山ダムの浅見人見・島崎千恵子さん、滝沢ダムの片桐和男さんとスタッフのみなさまに厚く御礼申し上げます。私たちの見聞はささやかですが、これからの日々に活かされれば幸いです。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館  
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1  
TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>